

事業報告

平成30年度 教育事業

ジャンプアップキャンプ①

平成30年7月15日(日)～16日(月)

【対象】 小学校3・4年生

【場所】 国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

小学校中学年の子どもたちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育み、人間関係の幅を広げるきっかけづくりとする。また、企画・運営は当施設法人ボランティアが中心となっており、子供達の活動・学びを支援する。

～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
1 日 目						開 会 式	昼 食	活 動 準 備	自然の中で遊ぼう (ニンニン道場)				夕 べ の つ ど い	入 浴	夕 食	ナイトプログラム (忍者歓迎の儀式)		就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	楽しい野外調理 (挑め秘伝のレシピ)			振 り 返 り	閉 会 式										

～参加者～

小学3・4年生 計44名(長野県：40名, 山梨県：3名, 愛知県：1名)

～活動トピックス～ 活動Ⅰ 「ニンニン道場」

自然の家の西尾根・硫黄沢エリアを使い、様々なミッションをクリアして、忍者になるという企画を楽しんだ。硫黄沢で笹船をつくりゴールさせたり、沢に隠されたビー玉を探したり、自然の中での活動に取り組んだ。ボランティアの見守りの中、課題をクリアするために声をかけあい、チームで協力しあって仲間を思いやる気持ちが育った。





活動Ⅱ 「忍者歓迎の儀式」

活動Ⅰの「ニンニン道場」で忍者になった子どもたちは、さらに新たな課題が与えられ、それをクリアして歓迎の儀式を迎えるという世界観で活動が行われた。箱の中の物に触り、何かを当てるゲームや、照明を消したプレイホールを裸足で歩き敷かれた素材を当てるゲームなどで普段とは違う環境で緊張しながらも、暗闇での活動を楽しんだ。

最後はキャンドルの灯を囲み、嬉しかったことや自分の気持ちを語り仲間との時間を振りかえった。



活動Ⅲ 野外調理

「挑め！秘伝のレシピ～ドライカレー、ナン、シャーベット作り～」

みんなが作業に参加できるようにすることを目標にドライカレー、ナン、シャーベットを作った。材料を切ったり、生地をこねたり全員が役割をもって活動した。また、子供の気づきを大切にし片づけを進んでできることがあるなど、ボランティアの狙いも、達成することができた。



～参加者の声～

《参加児童》

- ・ニンニン道場の試練が全部パーフェクトにできてうれしかった。ニンニン道場がすごく楽しかった。崖の試練が難しかったけどできてよかった。
- ・10人以上友達ができてうれしかった。新しくできた友達とまたどこかで一緒になりたい。（一緒にキャンプをしたい）
- ・料理の時の野菜を切る時が思い出に残っている。カレーを家で1回しか作ったことがなかったから作れるかなと思ったがうまく作れてよかった。
- ・みんな優しくとっても落ち着いた。みんなと協力していろいろできた。最後にもらったバッチを大切にしたいです。お兄さん、お姉さんもやさしくて楽しかったです。
- ・夜に外を歩きたい。手裏剣で遊びたい。

～成果と課題～

- アドベンチャーハイクでは例年になく暑さのため、熱中症予防のため、当初の計画のコースを短縮して行ったが、十分な活動量があり子どもが満足できる活動を行うことができた。
- ボランティアは5月から毎週企画委員会を持ち、企画を練ってきた。子供たちが自分たちの考えた企画に生き生きと取り組んでいる様子にやりがいを感じ、さらなる意欲に繋がっていた。
- 30名の募集枠に100名を上回る申し込みがあり、できるだけ多くの児童が参加できるように45名の参加者で実施した。その為、野外調理やチームでの活動に予定より時間が必要となり、次回は余裕を持った計画とする。またねらいを達成するための適正な参加者数を検討する。